2003年度　産業社会学会（教員・院生）共同研究会一覧

回　日　時	テーマおよび報告者
第1回（５月16日）	「The Residential Ecology of Racial Digital Decide」 Eric Fong氏　(トロント大学社会学科助教授)
第２回（６月４日）	「20世紀アメリカの女性たち――アーティスト，アートテイラー，美術館設立者など」COEプロジェクト ゲイル・レヴィン氏（ニューヨーク市立大学教授）
第３回（７月２日）	私の研究 「私の英語教育ム認知，メディア，ＦＤ，指標の観点から」 吉田　信介教授
第4回（７月11日）	私の研究 「スウェーデンの医療政策の動向―DRG／DPSの導入を中心に―」 松田　亮三助教授
第5回（７月18日）	「Past-globalization and the crisis of welfare」　Ritu Vij客員教授
第6回（10月15日）	「東アフリカのパフォーマンス―ケニアを事例として」 Julias Charo Shutu氏（ケニア　ギリヤマ舞踏団） Idd Aziz 氏（同） 解説：遠藤　保子教授
第７回（10月17日）	「Understanding Recent Fertility Decline in Korea」 Ki-Soo Eun 氏（韓国精神文化研究院助教授）
第８回（10月31日）	国際研究集会 「都市再生とＮＰＯ―ニューヨーク・コモングラウンドの挑戦」 ロザンヌ・ハガティ氏（米国NPO：コモングラウンド，プレジデント） パネルディスカッション
第９回（11月21日）	「M.フーコーノ権力論について考える―歴史学的･教育的アプローチ」 寺崎　弘昭氏（山梨大学教授）
第10回（11月28日）	私の研究 「文化研究とアフリカ文学」 坂本　利子教授
第11回（12月18日）	「インターネット時代におけるメディア・リテラシーの理念と実践 ―カナダの場合―」 Neil Andersen氏（オンタリオ州教育委員会コンサルタント）
第12回（１月24日）	「マルクスの共同体／共同社会論」 渡辺　憲政氏（関東学院大学教授）
第13回（３月11日）	「グローバリズムとナショナリズムの関係」 平子　友長氏（一橋大学社会学部教授）
第14回（３月19日）	「戦後社会福祉論争と福祉労働論研究の課題―社会福祉の政策・労働・技術の統合をめざして―」 加藤　薗子教授（定年退職記念共同研究会）

2003年度に，学部共同研究会（共催を含む）として位置づけ開催した研究会一覧である。